



1

自己紹介

NCTPH
Nagasaki Chitosepia Hall
長崎市チトセピアホール



since
2015

NNCLC
Nagasaki North Community Learning Center
長崎市北公民館



since
2020

NCACL
Nagasaki Citizen Activity Center “LANTANA”
長崎市市民活動センター “ランタナ”



since
2023

2

自己紹介

【 出口 亮太 】

- 1979年 長崎市生まれ。東京学芸大学で博物館学を学ぶ。
- 表参道・桃林堂画廊の運営、長崎歴史文化博物館の教育普及研究員を経て
公共ホール管理会社・ステージサービス入社。
- 2015年 長崎市チトセピアホールの館長に就任。
- 2019年 活水女子大学非常勤講師（舞台芸術論）
- 2020年 長崎市北公民館の館長を兼任。
- 2023年 長崎市市民活動センターの統括を兼任。
- 各施設で企画運営を行う傍ら、近隣の公共施設や地域団体との連携事業を実施しつつ、現場での知見をもとにした施設運営についての講義・事例発表を全国で行う。



3

自己紹介



4

自己紹介



5

2003 桃林堂

表参道
桃林堂

6

3

2003 桃林堂



7

2003 桃林堂



8

2003 桃林堂

和菓子屋に併設された 画廊（工芸）ギャラリー 運営

9

2003 桃林堂

基本的な事業の サイクルを学ぶ

10

2003 桃林堂

企 画 > 広 報



総 括 < 運 営

11

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

2015年
長崎市チトセピアホール
運営開始

12

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



13

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

■設置目的

**市民の文化活動の振興
豊かな市民生活の向上**

14

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始
1991年、複合施設「チトセピア」完成とともに開館



15

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始
**指定管理者制度のもと、2015年度より（有）ステージサービスが管理
館長・総務・舞台・音響・照明の5名で運営**

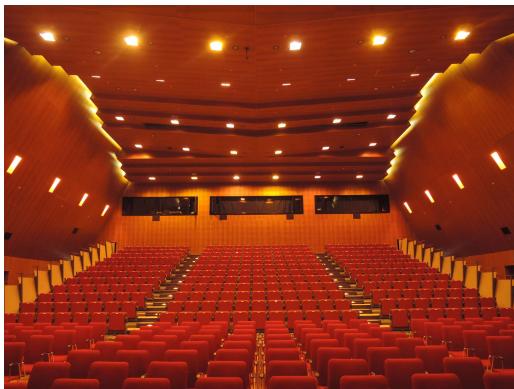


16

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

客席スペース（左）と客席収納時（右）

椅子席500名で客席は可動式。オールスタンディングで750名収容



17

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

ロビー



18

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

■貸館運営にかかる経費

委託料と利用料金収入の併用制

19

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

■自主事業にかかる経費

自主事業＝

指定管理者が企画・資金調達・運営

＝事業予算ゼロ

20

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

■劇場法（2012）に定められた劇場の事業

- ①施設提供**
- ②創造事業**
- ③普及啓発**
- ④連携強化**
- ⑤国際交流**
- ⑥調査研究**
- ⑦人材育成**
- ⑧社会包摂**

21

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

**施設提供（貸館）だけでは
ホールの姿勢は示せない**

22

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

**自主事業はその館のミッションや
問題意識を表す**

23

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

チトセピアホールの自主事業

■企画の同時代性

■空間の有効活用

■持続可能な収支計画

■積極的な社会協働



24

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



25

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

**NPO法人 Tsunagu Family
との10年**

26

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

[Tsunagu Family]
アートを通した障害者支援を目的に
2012年に設立。障害のある人も
ない人もいっしょに楽しめる
創作ワークショップを
2015年より開催。

27

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



28

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



29

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



30

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



31

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



32

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



33

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始



34

2020 長崎市北公民館 運営開始

長崎県音楽連盟 との10年

35

2020 長崎市北公民館 運営開始

**【名曲コンサート】
県内の音楽家の活動支援、交流促進、
発表の場の提供を目的に1997年に
設立された長崎県音楽連盟との
コンサートを2015年から開始**

36

2020 長崎市北公民館 運営開始



37

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

「ナイトクルージング」上映会

(長崎県視覚障害者情報センター・長崎県愛の福祉事業振興補助金交付事業)



38

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

「ナイトクルージング」上映会

(長崎県視覚障害者情報センター・長崎県愛の福祉事業振興補助金交付事業)



39

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

「チトセピア建築映画祭」 (長崎都市・景観研究所)



40

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

「チトセピア建築映画祭」（長崎都市・景観研究所）



41

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

「チトセピア建築映画祭」（長崎都市・景観研究所）



42

2015 長崎市チトセピアホール 運営開始

「ジェイン・ジェイコブズ ニューヨーク都市計画革命」 上映会
 (長崎都市・景観研究所)



43

2020 長崎市北公民館 運営開始

2020年
 長崎市北公民館
 運営開始

44

2020 長崎市北公民館 運営開始

**3階 長崎市北公民館
2階 長崎市チトセピアホール**

45

2020 長崎市北公民館 運営開始



46

2020 長崎市北公民館 運営開始



47

2020 長崎市北公民館 運営開始

■設置目的

**住民の教養の向上、健康の増進、
情操の純化を図り、生活文化の振興、
社会福祉の増進に寄与**

48

2020 長崎市北公民館 運営開始

指定管理者制度のもと、令和2年度より（有）ステージサービスが管理
館長・事業企画・社会教育指導員・事務受付*3・図書室*9の15名で運営



2020 長崎市北公民館 運営開始

■視聴覚室

■会議室

■調理実習室

■研修室

■講 堂

■和 室



2020 長崎市北公民館 運営開始

文化芸術

×

生涯学習

51

2020 長崎市北公民館 運営開始

(1) ミッション

「開かれ、つながる社会教育」

「『社会教育』を基盤とした、

人づくり・つながりづくり・地域づくり」

(2018年、中教審答申)

52

2020 長崎市北公民館 運営開始

(2) 現状

利用者の固定化

高齢化による利用者減

(2021年、全国公民館連合会 公民館実態調査「地域社会に再定位する公民館」)

53

2020 長崎市北公民館 運営開始

(3) 課題

これまでの社会教育や生涯学習の枠に

留まらず、地域活動の様々な拠点や

学校との連携

(2021年、全国公民館連合会 公民館実態調査「地域社会に再定位する公民館」)

54

2020 長崎市北公民館 運営開始

(3) 課題

**住民主体での地域課題の発見解決、
そのための学習の推進や活動の拠点**

(2021年、全国公民館連合会 公民館実態調査「地域社会に再定位する公民館」)

55

2020 長崎市北公民館 運営開始

(3) 課題

頻発する自然災害時における防災拠点

(2021年、全国公民館連合会 公民館実態調査「地域社会に再定位する公民館」)

56

2020 長崎市北公民館 運営開始

防災拠点



開館30年目にして初めてチトセピアホールも避難所に

57

2020 長崎市北公民館 運営開始

ところで、

58

2020 長崎市北公民館 運営開始

長崎市北公民館HPの アクセス解析

59

2020 長崎市北公民館 運営開始

Google Analyticsによる利用者分析



60

2020 長崎市北公民館 運営開始

**いま、長崎市では
2030年の開館を目指し
新しい文化施設の
構想を検討中**

61

2020 長崎市北公民館 運営開始



62

2020 長崎市北公民館 運営開始

長崎市新たな文化施設を考える 市民ワークショップ ヒアリング結果

63

2020 長崎市北公民館 運営開始

いま、公共ホールに求められるもの

- キッズスペース 用がなくても集まる**
- 幅広い世代の交流できる場 Wi-Fi**
- 市民の作品の展示 緊急時の避難所機能**

(2021年、長崎市新たな文化施設を考える 市民ワークショップ)

64

2020 長崎市北公民館 運営開始

**これって公民館に
全部ありますよね？**

65

2020 長崎市北公民館 運営開始

公民館が古いわけじゃない

66

2020 長崎市北公民館 運営開始

現代の公民館に求められる ニーズを正しく把握し 潜在的利用者層へ訴求する 企画とツールを考えよう

67

2020 長崎市北公民館 運営開始

地域団体との連携



日本銀行長崎支店

68

2020 長崎市北公民館 運営開始

地域団体との連携



恐竜博物館

2020 長崎市北公民館 運営開始

伝達ツールのアップデート



公民館だより

You Tubeチャンネル

2020 長崎市北公民館 運営開始

活動内容のアーカイブ



公民館だより

HP

71

2020 長崎市北公民館 運営開始

地域外への発信

「月刊公民館」2021年9月号

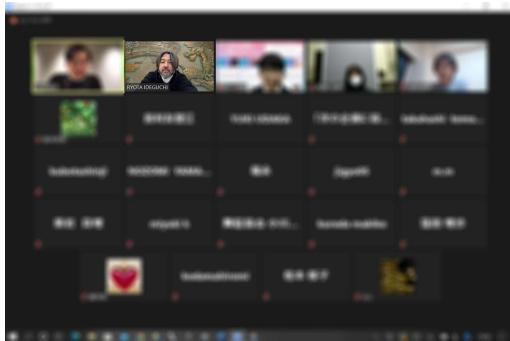
特集：新しい発想を取り入れた公民館



72

2020 長崎市北公民館 運営開始

地域外への発信



文化庁主催人材育成講座 全国公立文化施設協会研修会

73

2020 長崎市北公民館 運営開始

公民館のSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	ノウハウの蓄積 ・人的蓄積 公共の概念の理解	事業の固定化 発信力の弱さ
外部環境	地域との継続的な連携 地域における存在感	利用者数の減少 利用者の高齢化

74

2020 長崎市北公民館 運営開始

弱みをふまえて強みを活かす

公共の精神+人的・ノウハウの蓄積

75

2020 長崎市北公民館 運営開始

弱みをふまえて強みを活かす

公共の精神+人的・ノウハウの蓄積

→新規事業を効果的に発信

76

2020 長崎市北公民館 運営開始

弱みをふまえて強みを活かす

公共の精神+人的・ノウハウの蓄積

→新規事業を効果的に発信

→地域での存在感を活用して連携

77

2020 長崎市北公民館 運営開始

弱みをふまえて強みを活かす

公共の精神+人的・ノウハウの蓄積

→新規事業を効果的に発信

→地域での存在感を活用して連携

→利用者の幅の広がりと数の増加

78

2020 長崎市北公民館 運営開始

では、具体的にどう動くか

79

2020 長崎市北公民館 運営開始

市民はまず“公民館に来る”んじゃなくて
“イベント（講座）”に来たら、
その場所がたまたま公民館だった

80

2020 長崎市北公民館 運営開始

**きっかけとしての
“魅力的な講座の開発”**

81

2020 長崎市北公民館 運営開始

**利用者や受講者の層は
変わりづらくても
講師の人選や講座内容は
館がイニシアチブを取れる**

82

2020 長崎市北公民館 運営開始

**変えやすい、変えられるところから
変えてみよう**

83

2020 長崎市北公民館 運営開始

まず、講座と講師に変化を

84

新規事業【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

親子向け冬のオムニバス講座の 立ち上げ

85

新規事業【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

【コンセプト】
**地域の“いま”の抱える
社会的課題や知的好奇心を
反映させた、地域の専門人材による
10のオムニバス講座**

86

新規事業【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】



87

新規事業【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

88

新規事業【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

実施実績(2020年度)

- 募集開始から3週間で279組、のべ479名の応募
- 応募者層：16.1%が30代、55.6%が40代
(応募者≠保護者でカウント)
- 参加希望者層：41.8%が子ども、9.4%が30代
32.4%が40代
- 受講倍率平均2.4倍（最高12倍）

89

新規事業【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

実施実績(2020年度)

- 受講者数 268名 (web閲覧数含)
- web配信・追加開講も実施
- 従来の利用者層に比べ大幅な若返り
- ポップな冊子を近隣の小学校に配布、
ネットからの応募が圧倒的に多い (91.9%)

90

新規事業【冬のオムニバス講座 「北公民館の冬じたく」】

訴求ポイント

	年齢層	継続性	地域性	同時代性	利便性
冬のオムニバス講座	低 +子育て	単発	高	高 +継続	高
自主学習グループ	高	高	高	低	低
春・秋の講座	高	高	高	低	低
夏休み子ども講座	低	単発	高	高	高

91

新規事業【冬のオムニバス講座 「北公民館の冬じたく」】

【コンセプト】

“年末年始のお家時間を
楽しく過ごすための冬じたく”
というテーマで一貫性を持たせる

92

新規事業【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

【コンセプト】

**家族が日常的に複数の講座を
受講するイメージ**

93

新規事業【冬のオムニバス講座「北公民館の冬じたく」】

【コンセプト】

近隣の小学校にパンフレット配布



子どもを通じて保護者がwebで応募

94

2020 長崎市北公民館 運営開始

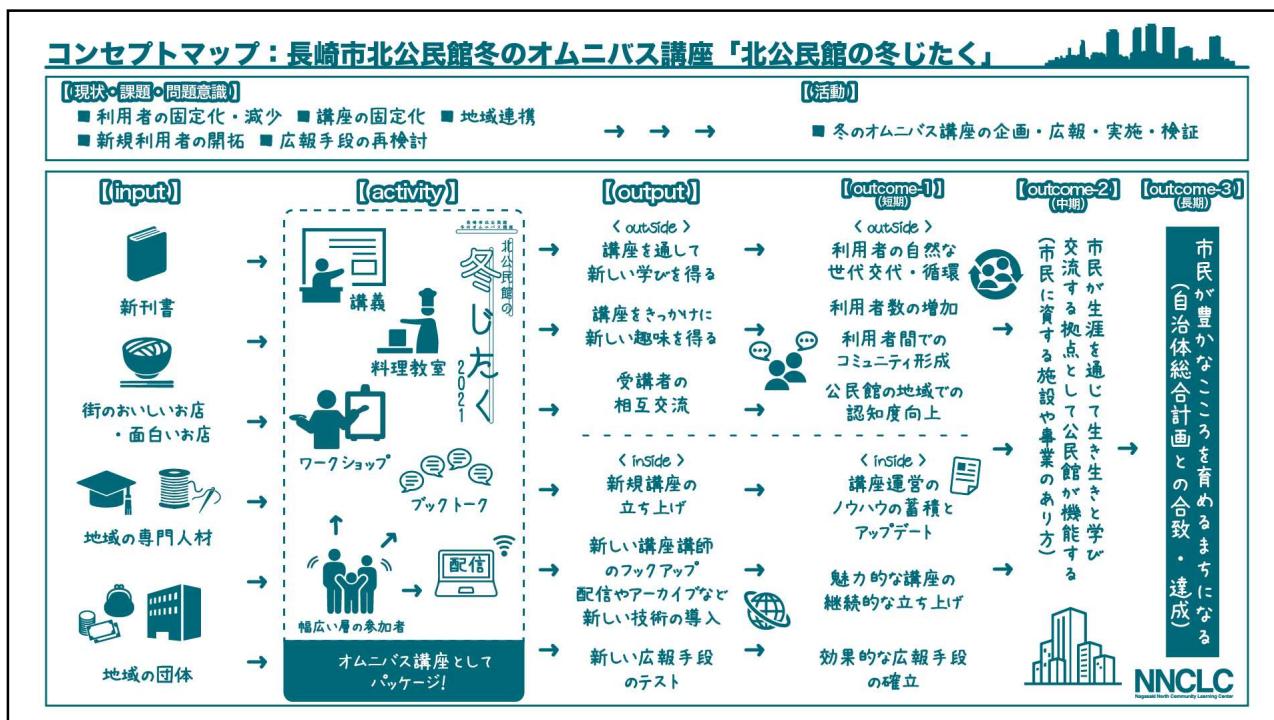
- 年齢層** : 子どもを窓口として親世代とつながる
- 継続性** : 気軽な単発講座からレギュラープログラムへ
- 地域性** : 身近な社会的課題・専門人材を講座に反映
- 同時代性** : 新規講座の立ち上げ・次代を担う人材の育成
- 利便性** : トークショー形式の気軽な講座を平日夜開催

95

新規事業【冬のオムニバス講座 「北公民館の冬じたく」】

事業総括

96



97

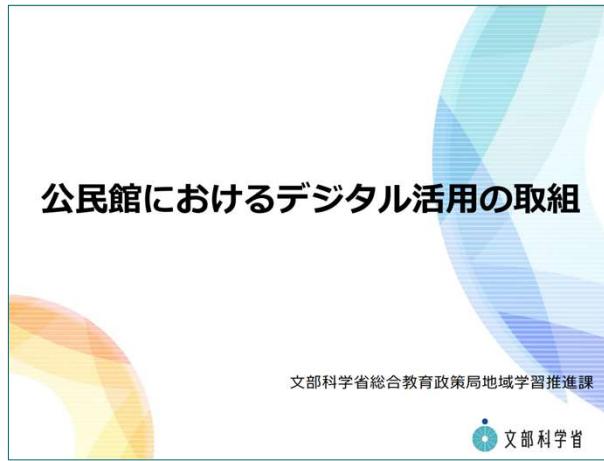
新規事業 【冬のオムニバス講座 「北公民館の冬じたく」】

新しい公民館運営の スタイルの構築と 長崎市からの発信

98

2020 長崎市北公民館 運営開始

文部科学省 公民館におけるデジタル活用の取組（2022）



99

アクセス解析ツールを活用した新たな利用層の開拓（長崎市北公民館）

背景

課題は、“利用者の固定化”と“年齢層の偏り”

長崎市北公民館では、自主学習グループを中心に盛んに活動が行われている一方で、利用者の固定化、年齢層の偏り（高齢者が多い）があり、将来的に利用者が減少し活動も先細りになるのではないかという問題意識を抱いていた。

ホームページのアクセス解析で訪問ユーザーを分析

訪問ユーザーの特徴は？ ホームページのアクセス解析サービス（無料）を活用したところ、サイトのメイインユーザーは、25歳～44歳の女性であることが分かった。しかし、この子育て世代と思われる女性たちは、サイトにアクセスしているにもかかわらず、実際に公民館に足を運んでいなかった。



訪問ユーザーに情報を届けるには？

ホームページなどに加え、子どもを通じて、その親に情報が伝わるように、近隣の小学校にQRコード付きのリーフレットを配布。
応募者の92%がインターネットからの申し込みがあった。



訪問ユーザーが参加したい講座は？

訪問ユーザーをターゲットに講座をリニューアル

ホームページをよく見ててくれる25～44歳の女性なら、公民館の利用者になり得ると考え、子育て世代が多いという想定のもと、冬休みに親子で参加できる講座をコンセプトに継承発展させ、複数の講座をパッケージ化したオムニバス講座「北公民館の冬じたく」を開講。



講師発掘にも一工夫

ハードルを下げて講師を引き受けでもらやすく！
多種多様な地域人材を探だし、少人数・小規模講座ということで、引き受けてもらいやすく、次世代の公民館を担う講師を発掘できた。



新たな利用者層の開拓

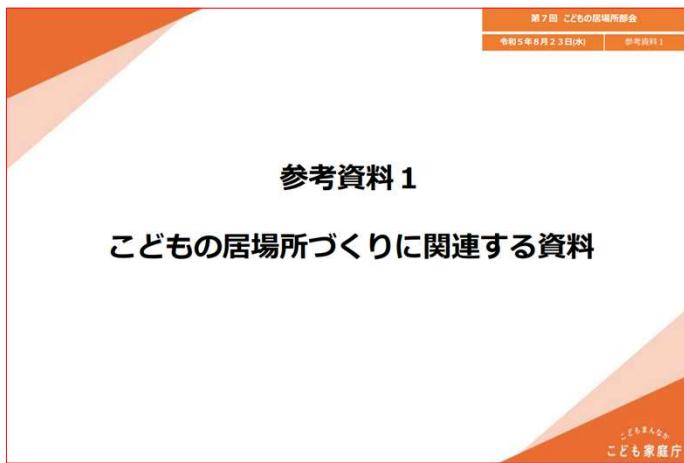
参加者の年齢層も子育て世代が主と思われる30～40歳代が70%以上を占める結果となり、利用者層の拡大につなげることができた。



100

2020 長崎市北公民館 運営開始

こども家庭庁 こどもの居場所部会 資料 (2023)



101

【公民館における取組事例】多様な世代が行き交う地域のハブ機能を担う（長崎県長崎市）

取組の概要

長崎市北公民館では、公民館活動に参加する年齢層の固定化や将来的な利用者の減少という問題意識に対し、ホームページのアクセス解析や市民アンケートを通して、子育て世代や子どもたちを潜在利用者層と捉え、そこをターゲットとした講座の企画や、学校と連携した広報の実施等により、新たな利用者層の開拓に繋げている

【長崎市北公民館】

- ◆ エリア人口：約5.2万人（市内最大）
- ◆ S44年開設。H3年に商業施設・ホール等を含む複合施設内に移転
- ◆ R2年度から指定管理者制を導入

主な取組内容

◆ 子育て層向けの講座の実施

- 市民アンケート調査ながら、子育て世代や子どもたちが集い、学び、交流する場が求められていることを把握し、子どもから大人まで楽しめる公民館として、**子育て世代やこどもたちのニーズを踏まえた講座を実施**
- ▷ 県音楽連盟所属の音楽家によるワークショップ
 - ▷ 地域の飲食店の店主による料理教室
 - ▷ プログラミング教室
 - ▷ 託児サービス付き育児講座



◆ 時代の変化に即した講座の実施

- 地域が抱える社会的課題や知的好奇心を反映させた、地域の専門人材による講座を企画・実施。受講応募者の72%は30~40代、92%はインターネットからの応募となるなど、**多様な世代が参加**
- ▷ 金融教育講座
 - ▷ ジュニアの観点からの歴史講座
 - ▷ 地産地消の料理講座
 - ▷ 地域の書店と連携した読書講座 など

◆ ICTの活用

- 公民館のWi-Fiを活用し、対面とオンライン配信を併用した講座を実施

◆ 広報ツールの工夫

- 小学校とのネットワークを活用したリフレットの近隣校への配布や、SNSを活用した告知など、**紙媒体とWebのそれぞれの強みを活かした広報を実施**



(地域のニーズに対応した講座の企画・実施のイメージ)

(令和4年度優良公民館表彰事例より文部科学省が作成)

102

2020 長崎市北公民館 運営開始
第75回優良公民館 優秀館受賞
(2022、県内初)



103

北公民館の広報とwebの活用

潜在的利用者・潜在的ニーズ



**伝わるべき人に伝わらない
不幸を解消**

104

北公民館の広報とwebの活用

第8回全国公民館報コンクール 審査員賞受賞（2020）



105

北公民館の広報とwebの活用

第4回全国公民館インターネット活用コンクール 金賞受賞（2021）



106

北公民館の広報とwebの活用

**webの利便性
紙の一覧性・訴求性
▲
併用**

107

北公民館の広報とwebの活用

**webの広報ツールとしての
有効性は訴求対象による**

108

北公民館の広報とwebの活用

webのもうひとつの機能



アーカイブ機能

109

北公民館の広報とwebの活用

記録は次の企画の宣伝・説得材料



110

北公民館の広報とwebの活用

記録は次の企画の宣伝・説得材料



111

北公民館の広報とwebの活用

広報する際には一過性の読み捨てでなく
リファレンス性を高める



リユースを見据えて再読に値する広報を行って労力対効果を高める

112

北公民館の広報とwebの活用

**企画担当が思いを伝えるタイミング
講師依頼（講師候補者へ）
講座告知（受講してほしい市民へ）
活動報告（未来の受講者へ）**

（月刊公民館 2024年8月号）

113

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**2023年
長崎市市民活動センター
運営開始**

114

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**指定管理者制度のもと、令和5年度より（有）ステージサービスが管理
センター長を含め常時2名勤務**



115

自己紹介

3施設の広報誌「Drie」



116

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

■設置目的

**市民活動の活性化
多様な主体同士の協働を促進**

117

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

文化芸術

×

生涯学習

×

市民活動

118

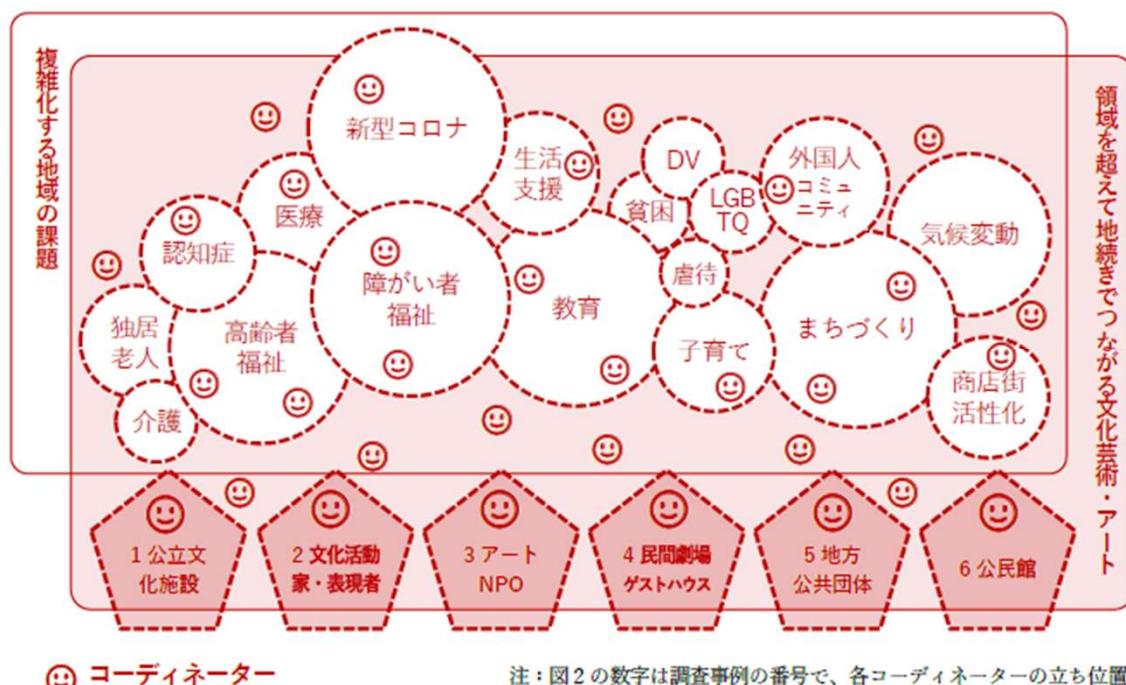
2023 長崎市市民活動センター 運営開始

変化する地域と越境する文化の役割

2022年 (一財) 地域創造 調査報告書

119

図2 本調査におけるこれからのコーディネーター



120

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

多様化・複雑化する社会的課題

**▶解決には横断的・越境的な活動を行う者が、
媒介となって各々の分野での活動を結びつけ、
社会と接続させることが糸口となるのでは？**

121

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**施設連携を促進する
協働コーディネーター
の設置**

122

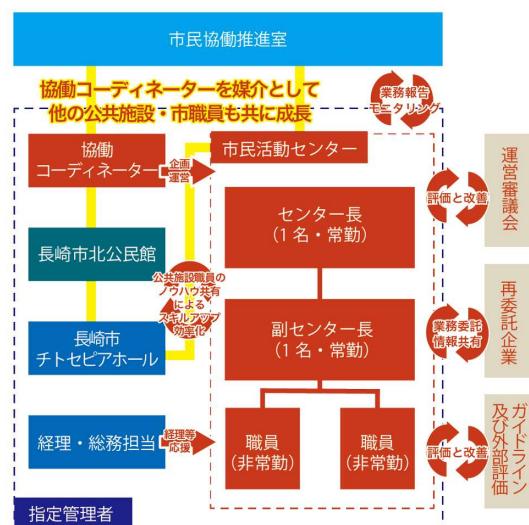
2023 長崎市市民活動センター 運営開始

協働コーディネーターは…

- ▶社会と文化芸術をつなぐアートマネジメント専門職
- ▶運営する市内の複数の公共施設との連携強化
- ▶地域の学校や大学とも連携
- ▶全国的なネットワークを活用
- ▶長崎市と情報・ノウハウ・理念共有

123

2023 長崎市市民活動センター 運営開始



124

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

■交流サロン

■作業室

■会議室

■貸事務室

■ロッカー



125

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

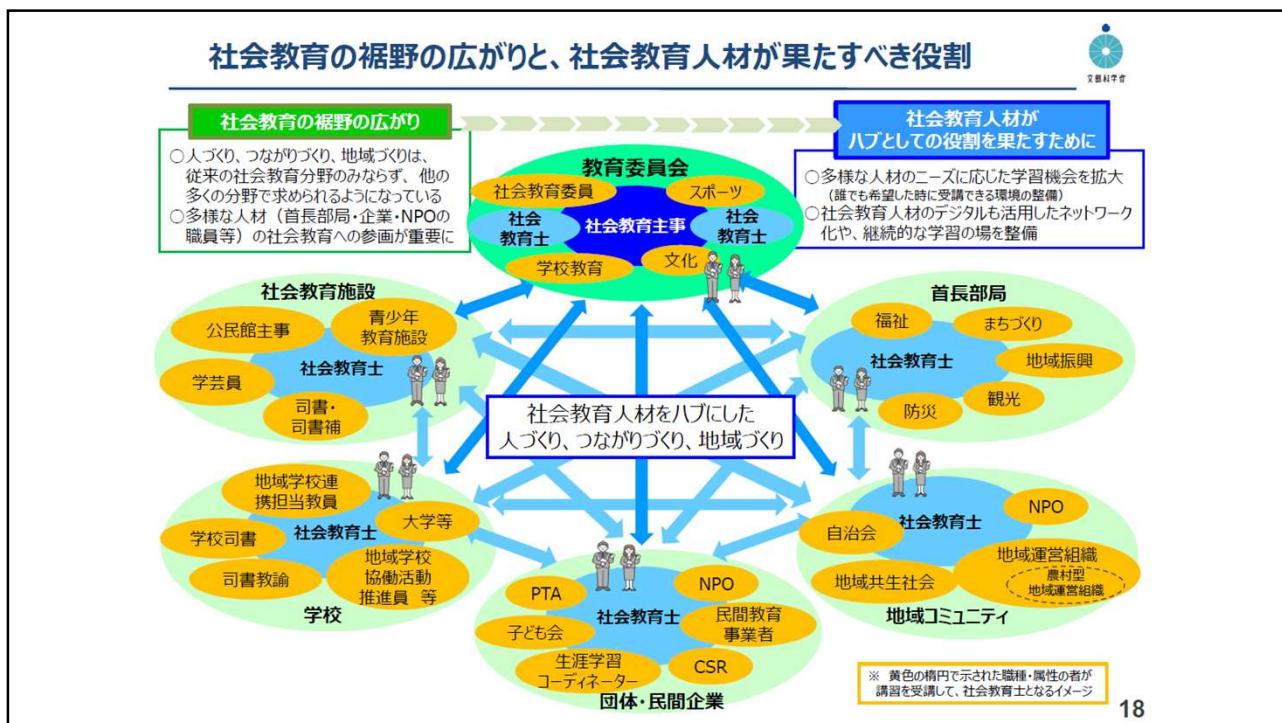
地域コミュニティの基盤を支える

今後の社会教育の在り方と推進方策について

2024年6月 中央教育審議会

生涯学習分科会 資料

126



127



128

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

より多様な広がりとつながり
地域のハブとして社会教育が機能する

129

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

文化施設と文化的活動
2025年1月 文化庁 文化審議会
文化施設部会 資料

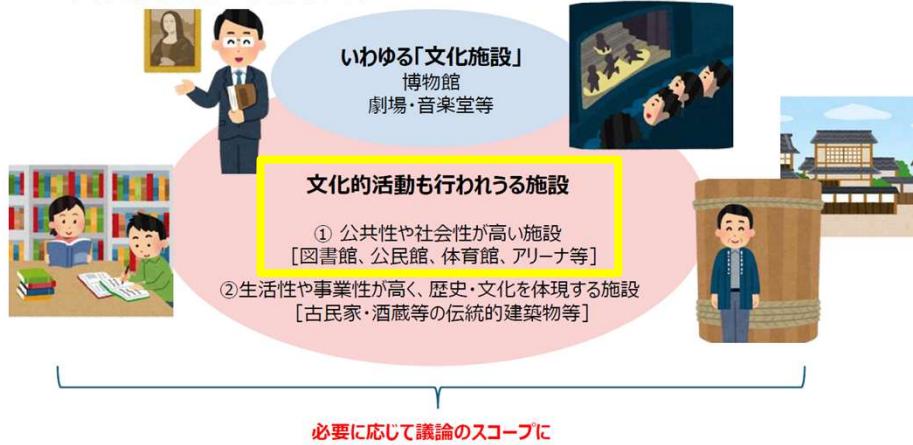
130

文化施設と文化的活動①



- これまで、文化庁は、博物館法や劇場・音楽堂等法の対象施設を「文化施設」として政策運営や支援を推進。
- 実際の人々の文化的活動を見ると、公共性や社会性の高い施設（社会教育施設【例：図書館、公民館】）や、生活性や事業性が高いものの、同時に我が国の歴史・文化を体现している施設【例：古民家、酒蔵】などにおいても、活動が行われ、「場」として活用されているケースも少なくないのではないか。

⇒ 文化施設部会での議論においては、**広く文化的活動が行われる「場」を、必要に応じて議論のスコープに入れて考えるべきではないか。**



2

131

文化施設と文化的活動②



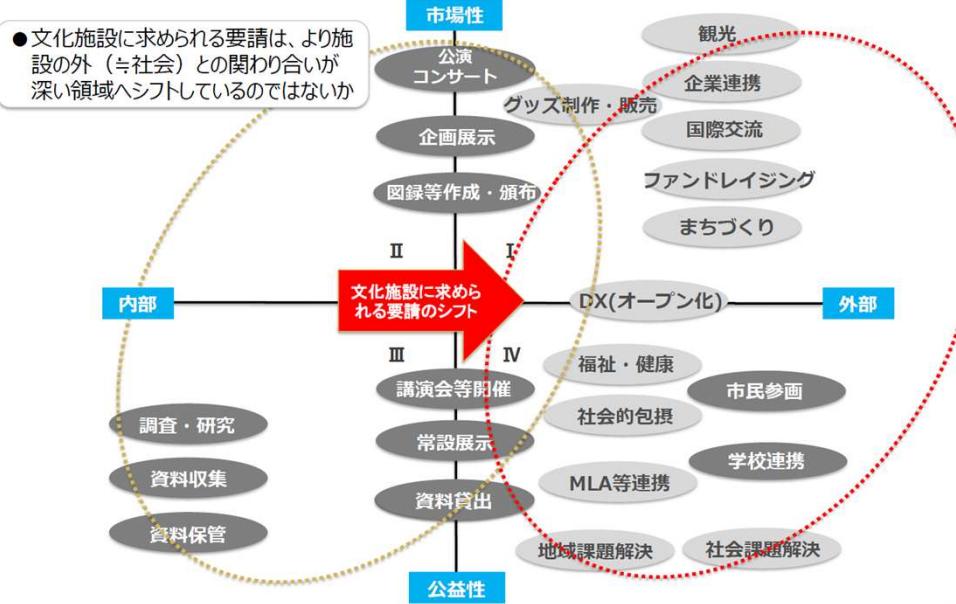
- 議論のスコープを広げることで、これまでの活動をさらに充実し、互いの強みを活用するヒントが得られる可能性。
- さらに、これまでの利用者層を超えたユーザー層にリーチすることが可能となるのではないか。

いわゆる「文化施設」		文化的活動も行われうる施設	[類型②] 生活性や事業性が高く、歴史・文化を体现する施設 (古民家、酒蔵等の伝統的建築物等)
(博物館、劇場・音楽堂等)	[類型①] 公共性や社会性が高い施設 (図書館、公民館、体育館、アリーナ等)	[類型①] 公共性や社会性が高い施設 (図書館、公民館、体育館、アリーナ等)	[類型②] 生活性や事業性が高く、歴史・文化を体现する施設 (古民家、酒蔵等の伝統的建築物等)
強み <ul style="list-style-type: none"> 知識欲や関心等に対して、総合的に提示・表現・発信が可能 専門人材による高度な知識の提供 街の中心にあり、利便性が高い 地域性の体现、市民からの期待 課題 <ul style="list-style-type: none"> 文化活動の多様化、多角化への対応力 予算・運営資金の確保 物理的なキャパシティ不足 専門人材不足（外部人材の登用） デジタル化への対応 関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽にアクセス・利用可能 学習・文化的な活動の拠点 地域の拠り所 コミュニティの形成 	<ul style="list-style-type: none"> 予算・運営資金の確保 専門人材不足（外部人材の登用） デジタル化への対応 関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の誇りや心の拠り所、安心感 伝統的な建築や活動が持つ歴史的/文化的価値との共存 地域文化の拠点としての機能 地域の伝統的行事の継承拠点

3

132

「文化施設」が直面する変化④ ~ニーズの多様化と外部化



13

133

文化施設の置かれた状況・課題

- ①複雑化、高度化する社会からの要請への対応
- ②リソースの限界（人的、予算的側面等）
- ③将来を見通した合理化や最適化の模索

考えるべきリスク

- 「文化施設」の活動継続の困難化により、地域の人々にかけがえのない機会を提供出来なくなる恐れ（個人の尊厳へのリスク）
- 特に子どもの体験の機会を提供出来なくなる恐れ（将来の担い手・受け手育成上のリスク）
- 地域文化の核の喪失による、地域の衰退に繋がる恐れ（地域の歴史文化へのリスク）
- 地域における人にぎわい等の消滅による地域の魅力の減退・地域経済への閉そく感の恐れ（地域社会経済上のリスク）

今後の方針として、

文化施設を時代の状況とニーズに即してアップデートや高度化を上手く図ることにより、以下のようなアウトカムを目指せないか。

★人々の生きがいの創出

生きる力の源泉、個人の尊厳を守る「場」としての文化施設

★地域の活性化

魅力ある文化施設が吸引力となり、「ここに住みたい、暮らしてみたい」と思える魅力の創出、経済的效果の実現

★文化観光拠点として機能

海外からの誘客、ツアーへの組込

★地域の諸課題の解決

課題解決や地域イノベーションの源泉

★文化施設自体による地域のシンボル化

地域の人々の暮らし全体の中核

18

134

2023 長崎市市民活動センター 運営開始



135

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

MLAK連携

M : 博物館 (Museum)

L : 図書館 (Library)

A : 文書館 (archives)

K : 公民館 (Kominkan)

136

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**協働のニーズはある
誰がその端緒となるか**

137

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**行政区分の枠を超えて
“それ、誰の仕事ですっけ？”を
引き受ける**

138

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**より多様な広がりとつながり
地域のハブとして
公共施設が機能する**

139

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

長崎県美術館ツアー



140

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

ホールを使った公民館子ども講座



141

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

複数分野のNPOによる交流会をコーディネート



142

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

自治会と市まちづくり部によるまちあるきイベント



143

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

市民活動に携わる若者対象の交流会



144

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

電子音楽の講座



145

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

電子音楽のコンサート（長崎県美術館）



146

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

北部九州地NPO中間支援施設フォーラム主催



147

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

市民活動に携わる若者対象の映画＆トークセッション

35人、全員密着。

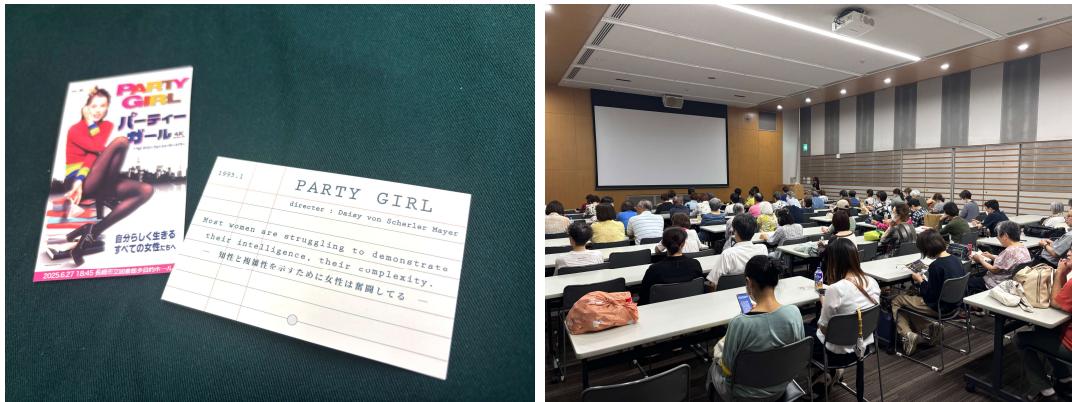
14歳の栄
3.5
ROADSHOW

©CHOCOLATE Inc.

148

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

男女共同参画週間 映画上映会（図書館共催）



149

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

男女共同参画週間 映画上映会（図書館共催）



150

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

公共施設をめぐるトークセッション



151

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

公共施設をめぐるトークセッション



後藤正文や柳樂光隆らと考える、
まちづくりと芸術文化。
「みんなの利益」「公共」とは



152

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

事業に人がやって来る



人が事業を持って来る

153

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**事業を構成する
企画・空間・予算を
それぞれ持ち寄る**

154

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**事業の性格・規模・
場所・タイミングに
合わせて施設を使い分け**

155

2023 長崎市市民活動センター 運営開始

**担い手不足から
未来の担い手の育成へ**

156

未来の公共施設を考える

■公共施設をとりまく多様性

- 施設・事業の担い手
- 施設の機能
- 施設の事業

157

未来の公共施設を考える

■施設運営のこれからのあるかた

- ネットワーク型の施設
- 地域の人材を見つけ、繋げ、育てる
- 諸要素が行き交う拠点として機能する

158

未来の公共施設を考える

■多様化する施設の管理者に求められるもの

- 施設の“公共性”を担保する
- あらためて根拠法令に立ち戻る
- “公共”観の絶え間ないアップデート

159

未来の公共施設を考える

■多様化する施設に求められるもの

文化芸術は、生涯学習は

全てのコンテンツは、

個人の心を豊かにする、と同時に、

人とつながる媒体、となる

160

未来の公共施設を考える

公共施設は その地域の縮図

161

未来の公共施設を考える

都市というのは、少年が朝に出かけて行き、
帰ってくる時には、彼が一生かけて取り組む
仕事を見つけられるような、そんな場所のことだ。

ルイス・カーン

162



163